



もっと育児を楽しみたい
パパを応援!
 パパの育児情報も満載の
 子育て情報サイトがスタートしました

第1回

柴橋正直市長 特別インタビュー
**「共に育てる」を楽しめる
 まちを目指して**

男性の育児参画を目指して、昨年度から岐阜市が行っている「ぎふし共育都市プロジェクト」。その取り組みや2年目となる今年の意気込みを、柴橋正直岐阜市長に聞きました。



**男性の育児参画は
 少子化対策に不可欠**

「共育で目指す岐阜市の姿とは。岐阜市では、政策の基本方針として「子どもファースト」を掲げ、子どもや子育てへのさまざまな支援に取り組んでいます。全国的に少子化による人口減少が進行する中、岐阜市も2018年の合計特殊出生率は1.44と、人口維持に必要な2.06を大幅に下回っており、とりわけ少子化対策が大きな課題と捉えています。

しかし一方で、2015年に国立社会保障人口問題研究所が行った調査では、夫婦が思う理想の子どもの数は2.32人と、いう結果があり、多くの人が子どもを産みたいと思っているにも関わらず、産み育てられないという現状があることを意味しています。

夫婦の理想を阻む原因はさまざまですが、その1つとして注目されているのが、「男性の家事・育児参画」です。厚生労働省の統計調査結果では、男性が家事・育児に参画する時間が長いほど、第2子以降が生まれる割合が高くなる、というデータがあります。そこには、女性が1人で家事や育児を担う「ワンオペ育児」を経験すると、その大変さから次の出産に踏み切れないという背景があります。今後、さらに女性の社会進出が進むと予想される中、夫婦が共に子育てを行う「共育」の推進は、少子化対策に不可欠だと考えています。

実際、2016年に岐阜市で実施した男女共同参画に関する市民意識調査では、掃除や洗濯、料理などの家事は、女性が7割以上を担っていることが分かりました。6歳未満の子を持つ家庭における男性の家事・育児時間を見ても、岐阜市は47都道府県中38位と、全国平均を下回っています。

しかし、男性が家事や育児に参画したくても、何から始めていい



「実施している事業を教えてください。」

このプロジェクトで実施している事業は、大きく3つあります。妊娠中のパートナーがいる男性やパパを対象に、育児や家事を学ぶ講座を開催する「パパ大学」、休日や子どもがいない日帰りの旅行に出かける「パパとキッズなホリデー」、仕事と家庭の両立や男性の育児参画、女性の活躍などに対する支援を積極的に行う企業を認定する「ぎふし共育・女性活躍企業認定制度」です。また新聞を中心に、男性の家事・育児参画を後押しする情報発信を行い、共育を推進しています。

夫婦で育児をきめるきっかけは「We Hug」

「1年目を終えて、参加者の反応や実感した手応えは。まずパパ大学では、参加者から「育児に対する不安が軽減した」「学んだことを家庭でも活かしたい」などの声が聞かれ、参加者の意識改革につながったと感じました。夫婦で育児を行うためには、コミュニケーションを重ねて、夫婦の価値観やルールを確認していくことが大切。パパ大学への参加は、そのきっかけにもなると感じています。

日帰りの旅行へ出かけるパパとキッズなホリデーは、非常に反響が大きく、多い時で定員の5倍を超える応募がありました。参加後は「次回は友人を誘って父子旅行をしたい」「子どもとの絆が深まった」との声をいただき、子どもとのふれあいを通じて、本気で育児に向き合う時間をつくることができたと感じています。



「子育て中のパパたちや、育児支援に取り組む企業にメッセージを。」

内閣府が行った「新型コロナウイルス感染症の影響における生活意識・行動の変化に関する調査」では、5割を超える人が、今回の感染拡大前後で仕事や家事・育児への向き合い方が変わりました。

「新型コロナウイルスの感染拡大により、仕事や家庭との関わり方にも変化が見られます。」

内閣府が行った「新型コロナウイルス感染症の影響における生活意識・行動の変化に関する調査」では、5割を超える人が、今回の感染拡大前後で仕事や家事・育児への向き合い方が変わりました。

育児参画のキキは「ママタラマン」

さまざまな体験や知識習得の場を提供していきます。育児のスキルアップはもちろん、同じ悩みや不安を抱えたパパ同士の交流もできますので、ぜひ参加して育児に励んでほしいと思います。

また企業の方々には、育児を頑張るパパママを応援する取り組みを実施していただきたいと思っております。岐阜市も現在、イクボス宣言

今年度力を入れていくことは。

の向き合い方が変わったという結果となりました。企業がテレワークの実施や、フレックスタイム制の導入など、労働時間の柔軟化を図る中、家族と過ごす時間が増加した人は7割を超え、「家族との時間を今後保ちたい」と回答した

「今年度力を入れていくことは。プロジェクトのさらなる周知を図るため、今年度から「We Hug（ワイハグ）」というキャッチコピーを掲げました。夫婦や岐阜市全体を表す「We」、抱きしめる、育むという意味を込めた「Hug」で、夫婦共に、そして地域・企業行動を含めたオール岐阜市で子どもをハグし、子育てをサポートしようという思いを込めています。

このキャッチコピーを全面に押し出したポスターやリーフレットを作成し、岐阜駅や公共施設など多くの目に触れる市内各所で広報活動を展開します。また独自のホームページを新たに立ち上げ、ツイッターやインスタグラムなどのSNSも活用した幅広い発信を行っていきます。

また今年度から、男性の育児参画や女性の活躍を推進するため、新たに企業向けセミナーを開催します。企業の意識啓発や働き方改革に関する知識・情報を提供していきますので、ぜひセミナーに参加して新しい働き方を取り入れていただきたいと思います。

パパを応援する事業が募集開始に!

パパを学ぶ パパ大学

パパになるのは、誰にとってもはじめてのこと。育児や家事をやってみたくて、何から始めたいかわからない...そんなパパをサポートするため、さまざまな講座を開催します。

入門講座【第1回】「楽家事」のスズメ

9月6日(日) 10:00~12:00 募集期間 8/28(金)まで

●場所/岐阜市中央青少年会館 ●定員/30組程度 ●参加費/無料

ステップアップ講座【0~1歳児パパ編】パパの育児・家事スタートダッシュ応援講座

9月6日(日)、19日(土)、11月14日(土) 募集期間 8/28(金)まで

●場所/岐阜市中央青少年会館ほか ●定員/25組程度

●参加費/無料 ●対象者/0~1歳児のパパ

入門講座【第2回】これだけは習得!パパの赤ちゃん育児トレーニング

9月19日(土) 10:00~12:00 募集期間 8/19(水)~9/11(金)まで

●場所/岐阜市中央青少年会館 ●定員/30組程度

●対象者/プレバト・プレママ

申込方法 「ぎふし共育都市プロジェクト」ホームページの応募フォームから申し込んでください。 ※応募者多数の場合は抽選。

問い合わせ先 「ぎふし共育都市プロジェクト」事務局(株式会社中野アツタ) ●電話/058-265-6220

「事業に関する問い合わせ」岐阜市子ども政策課 ●電話/058-214-2397

※詳細は、「ぎふし共育都市プロジェクト」ホームページをご覧ください。 ※その他の講座については、ホームページにてお知らせします。 ※日程・講座内容は変更する可能性があります。

パパ大学 講師の紹介

講師 山田 亮氏

家事ジャーナリスト
 スーパー主夫、社会福祉士

1998年、当時大学助手だった妻と結婚。キャリアウーマンである妻を支え、主夫しながら佛教大学博士課程に進学。2011年、長女が誕生。ホームページ上で綴った家事・育児記録が新聞社の目に止まり執筆活動を開始。ロジカルな視点で「楽に家事をする」方法を日々実践し、「楽家事ゼミ」を主宰して情報提供や家事指導を行う。

割り切り家事でいい

子育て中の家事はタイム。だから、散らかっていても、ケガない程度ならOK。乾いた洗濯物は山盛りでOK。毎回、全部手作りご飯でなくても大丈夫です。赤ちゃんが泣くと作業の手は止まります。もう少し大きくなると、「あのね、あのね」「抱っこして」「遊んで」攻撃がきます。どのみち思ったような家事はできません。家事は子どもがもう少し大きくなってからでも十分です。でも、抱っこやお話や遊びの相手はその時しかできません。

家事は楽しい生活のための手段です。完璧を求めると家事は果てなく増えます。割り切った家事でも、笑顔の時間が増やせるなら、その方がいいと思いませんか。親がコゲンなら、きっと子どももコゲンです。

企業もWe Hug!

多様な働き方で人材定着度アップ!

これから少子化・高齢化が進み、人手不足が深刻になっていく中、子育てをはじめさまざまな家庭事情をもつ人が、ライフスタイルに合った働き方を選択できることは、人材の確保・定着の大きなポイントとなっています。例えば出産後、まだ子どもが小さいうちは所定労働時間を1日6時間とする「**短時間勤務制度(時短勤務制度)**」や、従業員が自由に始業・終業時間を決められる「**フレックスタイム制度**」を選べるようにしたり、一時的に「**短時間正社員**」を選択して、子育てが一段落したら正社員に登用できる制度を設けるなど、ライフステージに応じた働き方を用意するの1つの方法です。

最近では、新型コロナウイルス感染症の拡大もあって、自宅で仕事をする在宅勤務や施設に依存せずどこでも仕事ができるモバイルワークなど、ICTを活用した**テレワーク**を導入する企業も増えてきました。テレワークも家庭と仕事の両立に有効です。

また、子育て中の従業員をフォローしながらスムーズに業務を進めるために、定年制を廃止して経験豊富な人材に長く活躍してもらおうと、多様な人材を確保しておくことも大切です。

働き方改革の第一歩に最適!

ぎふし共育・女性活躍企業認定制度

岐阜市では、男性の育児参画により夫婦で共に子育てを行う「共育」の推進や、女性の活躍を促す取り組みを積極的に行っている企業を「ぎふし共育・女性活躍企業」として認定しています。

募集期間 2020年8月1日(土)~10月31日(土)必着

今年からオンライン申請が可能になりました!

募集に関する詳細はこちら!